

## 特定非営利活動法人(Non-Profit Organization)

## よりよいサポート・ネットワーク

ニュースレター No.32

2020.9.26

## 通常総会を開催しました

2020年度の通常総会は、コロナ禍で延び延びとなっていましたが、9月6日午後、『ふれあい青葉』（横浜市青葉区福祉保健活動拠点）で開催しました。総会は遠藤副理事長の司会で始まり、初めに齋藤理事が出席状況（賛助会員39名中、出席17名・委任状22名）を報告、議長に高木理事を選出（書記に島田理事を任命）し、理事長挨拶（裏面参照）の後、議事に入りました。

議事は、第1号議案「この5年間の活動報告（歩み）」（下表参照）、第2号議案「2019年度活動報告および賛助会員慶弔金支給制度」、第3号議案「2019年度会計決算報告」、第4号議案「2019年度監査報告」、第5号議案「2020年度活動計画」、第6号議案「会計制度の改定と2020年度予算」、第7号議案「役員（理事・監事）の選任および顧問・参与の委嘱」について、佐川理事長、山崎事務局長理事、大塚監事が、それぞれ提案・説明を行い、全て全員の賛成で承認されました。

また、新顧問の菅野義矩さんと新参与の吉敷晶彦さんにご挨拶いただいた後、運営委員会に切り替え、2020年度前半の活動と会計について中間報告を行い、今後の取り組みについて意見交換を行いました。

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
無料相談 定例開催 (会場) 相談実績	毎週日曜日 あざみ野会館 8件	毎月第一日曜日 あざみ野会館 12件	毎月第一日曜日 あざみ野会館 20件	毎月第一日曜日 ふれあい青葉 22件	毎月第一日曜日 ふれあい青葉 31件
やすらぎカフェ					8月から毎月開催
レセプション		1周年(4/16)30人	2周年(4/15)32人	3周年(4/21)42人	4周年(5/11)45人
チャリティコンサート			第1回(11/23)82人	第2回(11/25)72人	第3回(7/14)80人
アートフォーラム			(10/22)来場 60組	(10/21)来場 70組	(10/24)来場 65組
チーズ作り教室				(9/13) 12人	(12/1) 15人
新年交歓会			(1/14) 20人	(1/14) 23人	(1/12) 25人
ニュースレター	No.1 ~ 2	No.3 ~ 4	No.5 ~ 12	No.13 ~ 20	No.21 ~ 28
役員会・理事会	第1回(2/21) 第2回(5/24) 第3回(11/7)	第4回(4/3) 第5回(12/3)	第6回(4/2) 第7回(5/7) 第8回(9/3)	第9回(4/1)	第10回(4/7) 臨時(4/14 持回) 第11回(10/6) 第12回(3/1)
運営委員会 総会	2015年度(11/7)	2016年度(12/3) 第1回(4/16)	2017年度(9/3) 第2回(4/15)	2018年度(8/19)	2019年度(10/6)
収入(参加費を除く)	253,000円	254,000円	340,000円	373,000円	429,000円
賛助会費・寄付金	253,000円	154,000円	184,000円	223,000円	226,000円
お祝金		100,000円	156,000円	150,000円	143,000円
助成金					60,000円
賛助会員	15人	21人	29人	36人	39人

## 総会挨拶(要旨)

NPO 法人よりそいサポート・ネットワークの無償ボランティア活動は早いもので 6 年目に入っています。この 5 年間に振り返りますと、無料相談を中心とした地域福祉事業も、そのための NPO 組織も、年ごとに発展・成長してきました。これは、運営・専門スタッフのご尽力と皆様のご支援・ご協力のおかげであり、まず何よりも、皆様に心から感謝しお礼を申し上げます。

5 年経った私たち NPO の福祉活動が、「中弛み」しないで、これからも着実に成長していくことができ、結果として地域福祉における存在感、信頼感が高まっていくことは喜びではありますが、ここで今一度、「原点」に立ち返ることが大事ではないかと思われま。

5 年前に活動を始めるにあたって、私たちは、「人は皆、一人ひとりかけがえのない存在であり、人々から愛され大事にされるべき人間」であること、そして「困っている人や孤立している人、弱い立場にある人々に、温かく寄り添い、一人でも多くの方々が安心して暮らせるようサポートし地域福祉に貢献する」こと、を確認しました。

これからの活動において、改めてこの理念を確認しあいたいと思います。そして、そのうえで新たに「良質」「ワクワク感」「希望」の三つを活動目標に加えたいと思います。

私たちの活動は、助け合って幸せを創っていく福祉活動であり、まさに「一人は皆のために、皆は一人のために」という言葉どおりの社会活動ですので、無償ボランティアであってもきちんとした取り組みが求められます。ボランティアとしての誠実な対応は言うまでもありませんが、今後は、相談に来られた方々のフォローアップをしっかりと行い、また区と市の社会福祉協議会活動には積極的に参加するなど、福祉ボランティアとしての活動の質を高めていきたいと考えています。

継続してボランティア活動を行っていくには、一人ひとりの信念と自覚に加えて、「楽しさ」や「喜び」が不可欠と思われま。これからは、NPO 活動における「ワクワク感」を重視し、例えば、NPO として、また一人ひとりがボランティアとしてそれぞれ活動目標をもち、お互いに励まし合いながら目標を実現していく期待と喜びを感じられるようにしたいと思っています。また、私たちは NPO の福祉活動を通して人々に「希望」を届けられる存在でありたいと願っています。

2020 年度は、こうした取り組みのスタートの年にしたいと思っていましたが、残念なことに、コロナ禍によって、私たちの活動も大きな制約を受けています。コロナ禍がいつ終息するかはわかりませんが、ここ暫くは世の中全体が「試練」のときであるように思われま。

私の愛読書に、「患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出す」との言葉が載っています。直面している「困難」「試練」は必ずや「希望」に繋がると確信しています。

行動が制限され気力が失せるような日々が続いていますが、私たちのサポートを必要とする人が一人でもいる限り、NPO の活動は続きます。隣人愛による福祉ボランティアであることをいつも心に刻んで、これからも心と力を寄せ合って皆で進んでいきましょう。 (理事長 佐川英美)

無料相談のお問合せ・ご予約は  
NPO 専用電話 070-3345-5502

よりそいサポート・ネットワーク

検索